

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新型コロナウイルス COVID-19 の感染拡大は昨年も多くの人々の行動を制限し、グローバル経済にも非常に大きな影響を与えました。一方で、緊急事態宣言下で開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、世界のトップアスリートがその素晴らしいパフォーマンスで私達に大きな感動を与えてくれました。特に日本人選手の活躍は目覚しく、感動と共に希望を与えてくれた選手の方々に改めて感謝したいと思います。

現在は COVID-19 の感染状況もやや落ち着いた状態が続き、経済活動も日常を取り戻しつつあります。しかしながら、新しい変異株の出現により社会や経済について先を見通すことは難しい状況が続いています。このような不透明な時代において、当社が社会の中でしっかりとその役割を果たすには、全社員が共有するパーパス（目的）がより重要になると考えています。

私たちのパーパスはイノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくことです。そして四国に根ざした会社として地域社会をより豊かに発展させていくことだと考えています。富士通四国インフォテックのビジネスをお客様や社会からより信頼されるビジネスに変革させていくため、私どもは常にパーパスを確認しながらお客様のビジネスに貢献していきます。

2022 年の干支は「壬寅」となります。「壬寅」は陽気を孕み、春の胎動を助く」という意味があるそうです。また、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れるものとなるそうです。我々は一昨年から COVID-19 の影響で厳しい「冬」ともとれる状況の中にいます。今年こそはこの「冬」を乗り越え、その先にある華々しい「春」になって欲しいと願っております。今年は瀬戸内国際芸術祭の開催年でもあります。アフターコロナの素晴らしいイベントとなって欲しいものです。

我々富士通四国インフォテックは、デジタルトランスフォーメーション（DX）でお客様に新たな価値をご提供できるよう数年前より取り組みを進めております。昨年はこれらの取り組みをお客様に見える形にし、お客様の経営における優先課題に応えてまいりました。当社の取り組みにご賛同いただき、協働して課題に取り組むことで大きな成果に結びつけられたお客様もいらっしゃいます。2022 年はコロナ禍への対応として導入されたテレワーク環境や、業務のオンライン化・無人化の環境などを活用した更なる改革推進の好機です。我々は富士通グループが持つノウハウ・スキルを最大限に活用し、高品質なソリューション・サービスをご提供し、お客様とともに成長してまいります。

四国に根ざして地域に貢献し、そして市場は四国から日本全国、そしてグローバルへ。

今後ますます重要となるお客様の DX の実現に向け、お客様との信頼関係を大切に、お客様のベストパートナーとなれますよう一層努力してまいります。

本年も引き続き、富士通四国インフォテックをよろしくお願い申し上げます。

2022 年 1 月 1 日
株式会社富士通四国インフォテック
代表取締役社長 竹井 真素夫